

環境市場新聞

無料

2020年夏季第61号
25th ANNIVERSARY
日本テクノ株式会社
www.ntc.jp
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル53階
TEL 0120-308-512

電気管理技術者
募集しています
全国で積極採用!
【東京・神奈川・千葉】

設立25周年記念特別企画第3弾
開発背景と進化の軌跡
日本テクノの商品の変遷
G・I・T・M・B マッチング事例
異業種とのコラボを未来につなぐ
【有償会員登録済/課金内訳株式会社】

連載記事ほか
2 ポイントで読者のみなさまへ
3 第4回 環境省(ENV) 新規導入 環境省の推進する
4 省エネ 注意! 水電費削減に
5 省エネ 注意! 水電費削減に
6 省エネ 注意! 水電費削減に

温暖化対策 目標達成前倒し業種多数

経産省・環境省 業界団体らの実行計画を評価・検証

経済産業省・環境省は2020年4月、所管する44業種が策定している低炭素社会実行計画について評価・検証を実施し、取りまとめた結果を発表した。取り組みの進捗状況などを各業種の2018年度実績と比べて確認した結果、全体の7割当たる31業種がすでに2020年の目標に到達し、4割超の18業種は2030年の目標水準を上回っていた。計画の確実な進捗が明らかになった。

低炭素社会実行計画の評価・検証結果

(対象は経産省および環境省所管の44業種)

国内企業活動での削減目標

	2020年目標	2030年目標
2018年度実績が目標水準を上回る	31業種	18業種
基準年度比またはBAU比で削減しているが、2018年度実績において目標水準には至っていない	9業種	23業種
2018年度実績が基準年度比またはBAU比で増加しており、目標水準には至っていない	2業種	1業種
データ未集計等	2業種	2業種

*BAU(Business as usual)-何も対策をせず現状を維持した場合。

他部門・海外での貢献、技術開発

	取り組みについてリストアップを実施した業種	うち定量的記載がある業種
他部門での削減貢献	41業種	28業種
海外での削減貢献	26業種	15業種
革新的技術の開発・導入	32業種	10業種

*経産省・環境省発表資料をもとに作成。

低炭素社会実行計画は日本の産業界による「脱炭素(Net-Zero)」排出削減を目的とした自主的な取り組み。日本経済団体連合会(経団連)とエネルギー各業界団体が策定している。各業界団体は2020年・2030年目標を定め、削減率を公表している。経産省と環境省の合同会議で、所管する44業種の2019年度の実績がまとめられた。対象は2018年度の実績。国内企業活動での削減率は2018年度実績が目標水準を上回っていた。計画の確実な進捗が明らかになった。

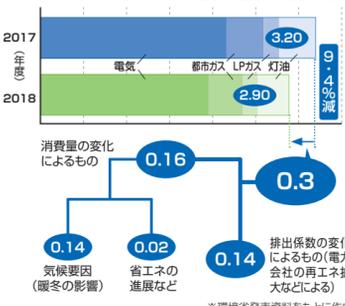
家庭のCO2排出量 9.4%減

環境省 2018年度調査確報

環境省は2020年3月、家庭部門の二酸化炭素(CO2)排出実態調査の結果(2018年度確報値)を発表した。世帯当たりの年間排出量は前年度の3・20トンのCO2(以下「トン」)から、4・9%減の2・99トンとなった。2019年9月発表の速報値は5・9%減だったが更新された減少幅が増えた。

昨年の速報値では集計されたエネルギー別別で、排出量が多かったのはガスや灯油などに比べ、CO2排出係数(左欄)で電気に比べて約2倍の約0・16トン/キロワット時。排出量が最も多いのは、世帯で計算しており、確認値は排出量の約67・2%を占めている。これは前年度の係数を適用している。

世帯当たり排出量の前年度比と減少の内訳



排出係数の変化によるもの(電力会社など)は0・14トンの減少、省エネの進展などによるものは0・02トンの減少、気候変動(暖冬の影響)によるものは0・02トンの増加が確認された。世帯構成の変化による影響は暖房費が減少したものの他の要因は0・02トンの減少が確認された。世帯構成の変化による影響は暖房費が減少したものの他の要因は0・02トンの減少が確認された。

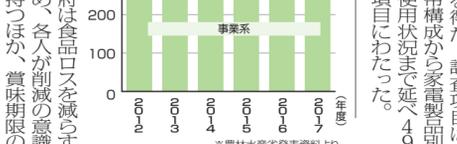
2017年度推計値

食品ロス年間612万トン

国民1人当たり1日茶わん1杯分

農林水産省と環境省は2020年4月、本邦産食品製造業と食品小売業の2017年度推計値を発表した。事業系食品ロス量は約612万トン、家庭系食品ロス量は約164万トン、合計776万トンであった。これは、国民が毎日1人当たり茶わん1杯分の白飯を1年間捨てる量に相当する。そのうち、家庭系食品ロスは約612万トンのうち、約164万トンを占める。事業系食品ロスは約612万トンのうち、約164万トンを占める。

食品ロス量の推移



食品ロス削減の推進は、持続可能な開発目標(SDGs)のターゲット12「持続可能な消費と生産」の達成に不可欠である。政府は食品ロス削減を推進する計画として、2019年10月に食品ロス削減推進法を制定し、2020年10月に食品ロス削減推進法を施行している。

省エネへ一歩前進。日本テクノが提供する省エネ診断サービスが、省エネ診断の精度をさらに向上させた。

省エネ診断サービスは、省エネ診断の精度をさらに向上させた。省エネ診断サービスは、省エネ診断の精度をさらに向上させた。

熱中症予防情報サイト

4月17日～10月30日 情報提供
https://www.wbgt.env.go.jp/

予測と実況「暑さ指数」

暑さ指数は、気温と湿度の組み合わせで、人体の熱のやりやりの熱収支に着目し算出される。暑さ指数は、気温と湿度の組み合わせで、人体の熱のやりやりの熱収支に着目し算出される。暑さ指数は、気温と湿度の組み合わせで、人体の熱のやりやりの熱収支に着目し算出される。

暑さ指数の単位は気温と同じ摂氏度(℃)だが、値は気温ではなく外気と人体の熱のやりやりの熱収支に着目し算出される。

暑さ指数は、気温と湿度の組み合わせで、人体の熱のやりやりの熱収支に着目し算出される。暑さ指数は、気温と湿度の組み合わせで、人体の熱のやりやりの熱収支に着目し算出される。

識者 COLUMN 環境政策最前線

早稲田大学 名誉教授 横山隆一

化石燃料に代わる次世代クリーンエネルギーとして「水素」が注目されている。水素は、地球上に最も多く存在する元素で、燃焼しても水になるだけで環境負荷が少なく、さまざまな原料から製造できるため、エネルギーの本格導入と大規模な水素社会の構築に向けた取り組みが期待されている。

究極のクリーンエネルギー「水素」

製造・貯蔵・利用への期待

水素は、地球上に最も多く存在する元素で、燃焼しても水になるだけで環境負荷が少なく、さまざまな原料から製造できるため、エネルギーの本格導入と大規模な水素社会の構築に向けた取り組みが期待されている。

全国大募集 1,266名の電気管理技術者が活躍中です

日本テクノ協会・日電協と一緒に働きませんか?

電気管理技術者 求む!

お仕事は日本テクノが紹介させていただきます!

募集要項

- 業務内容: 高圧受変電設備の保守・点検(キュービクル点検) ※営業活動はございません。
- 年齢: 不問
- 資格: 電験3種以上取得で高圧設備保守の実務経験4年以上の方 嘱託社員も歓迎。年齢により社員登用あり。研修制度あり。 ※実務経験は免状の種類によるため応相談。
- 勤務: ご自宅周辺の受変電設備(キュービクル)の定期点検業務(得意先指定・直行・直帰)
- 報酬: 出来高制(得意先固定・安定収入可能)
- 応募: ホームページまたはお電話にて 面接日など、後日お知らせいたします。

日本テクノ株式会社 受付 9:30~17:30(土・日・祝日を除く)
フリーコール 0120-308-412 保安本部 03-5909-5320

電気の人 検索 https://www.nichidenkyo.jp

25周年 特集もチェック!

2020年4月、日本テクノは設立25周年を迎えました。設立時から当社を支えてくださったお客様をはじめとするステークホルダーの皆さまに改めて感謝申し上げます。

日本テクノはこれまで電気の「見える化」を通じて、上手な電気の使い方を提案し、お客様とともに二人三脚で業務効率の改善や生産性の向上を図ってまいりました。このような時代だからこそ、お客様に寄り添い、より魅力的な商品・サービスを提供し続けます。

私たちがこれからも、電気の総合サービスを提供する企業として、電気がもたらす可能性を追求してまいります。

日本全国24時間、電気のそばに私たちはいます。電気にエネルギーをそそぐ。 日本テクノ株式会社 受付 9:30~17:00(土・日・祝日を除く)

(3)

環境市場新聞

2020年(令和2年)夏季 第61号【季刊】

25th Anniversary Series

第3弾◎日本テクノ 商品の変遷

25th ANNIVERSARY

商品の変遷

高圧受変電設備24時間監視機器
主装置E500シリーズ

1996年 開発・販売開始
 1996年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 漏電監視・トランス温度監視・停電監視
 ●バージョン: E500N
 漏電検出性能向上を実現。トランス温度監視装置を赤基調に変更し、停電監視装置のモジュール性能向上による管理台数の増加が実現した。
 ●バージョン: E500S
 停電監視のモジュールの信頼性向上。
 ●バージョン: E5004
 装置全体の小型化・軽量化に成功。アナログモデム通信機能に加え、PHS通信機能も選択可能。
 ●バージョン: E500A
 PHSの操作性向上および監視回路数の増加が図れた。この改良により、変圧器の複数回路に対してすべて24時間監視できるようになり、経済産業省の定めた保安検隔月化に必要な絶縁監視装置の基準を満たすこととなった。その結果、一定条件を満たす高圧受変電設備における保安点検の隔月化が実現した。
 ●バージョン: E5002
 ●バージョン: E5002M
 ●バージョン: E5002A
 ●バージョン: E5002B
 ●バージョン: E5002C
 ●バージョン: E5002D
 ●バージョン: E5002E
 ●バージョン: E5002F
 ●バージョン: E5002G
 ●バージョン: E5002H
 ●バージョン: E5002I
 ●バージョン: E5002J
 ●バージョン: E5002K
 ●バージョン: E5002L
 ●バージョン: E5002M
 ●バージョン: E5002N
 ●バージョン: E5002O
 ●バージョン: E5002P
 ●バージョン: E5002Q
 ●バージョン: E5002R
 ●バージョン: E5002S
 ●バージョン: E5002T
 ●バージョン: E5002U
 ●バージョン: E5002V
 ●バージョン: E5002W
 ●バージョン: E5002X
 ●バージョン: E5002Y
 ●バージョン: E5002Z

環境指向型多機能モニター付スマートメーター SMART METER ERRIA

2008年 開発・販売開始
 2008年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 環境指向型多機能モニター付スマートメーター
 ●バージョン: ERRIA-1
 ●バージョン: ERRIA-2
 ●バージョン: ERRIA-3
 ●バージョン: ERRIA-4
 ●バージョン: ERRIA-5
 ●バージョン: ERRIA-6
 ●バージョン: ERRIA-7
 ●バージョン: ERRIA-8
 ●バージョン: ERRIA-9
 ●バージョン: ERRIA-10
 ●バージョン: ERRIA-11
 ●バージョン: ERRIA-12
 ●バージョン: ERRIA-13
 ●バージョン: ERRIA-14
 ●バージョン: ERRIA-15
 ●バージョン: ERRIA-16
 ●バージョン: ERRIA-17
 ●バージョン: ERRIA-18
 ●バージョン: ERRIA-19
 ●バージョン: ERRIA-20

光音で電力使用状況を伝える時計 SMART CLOCK

2011年 開発・販売開始
 2011年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 光音で電力使用状況を伝える時計
 ●バージョン: EC1100E
 ●バージョン: EC1100F
 ●バージョン: EC1100G
 ●バージョン: EC1100H
 ●バージョン: EC1100I
 ●バージョン: EC1100J
 ●バージョン: EC1100K
 ●バージョン: EC1100L
 ●バージョン: EC1100M
 ●バージョン: EC1100N
 ●バージョン: EC1100O
 ●バージョン: EC1100P
 ●バージョン: EC1100Q
 ●バージョン: EC1100R
 ●バージョン: EC1100S
 ●バージョン: EC1100T
 ●バージョン: EC1100U
 ●バージョン: EC1100V
 ●バージョン: EC1100W
 ●バージョン: EC1100X
 ●バージョン: EC1100Y
 ●バージョン: EC1100Z

テナント向け電気料金自動検針システム EOO-TENANT

2007年 開発・販売開始
 2007年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 テナント向け電気料金自動検針システム
 ●バージョン: EOO-1
 ●バージョン: EOO-2
 ●バージョン: EOO-3
 ●バージョン: EOO-4
 ●バージョン: EOO-5
 ●バージョン: EOO-6
 ●バージョン: EOO-7
 ●バージョン: EOO-8
 ●バージョン: EOO-9
 ●バージョン: EOO-10
 ●バージョン: EOO-11
 ●バージョン: EOO-12
 ●バージョン: EOO-13
 ●バージョン: EOO-14
 ●バージョン: EOO-15
 ●バージョン: EOO-16
 ●バージョン: EOO-17
 ●バージョン: EOO-18
 ●バージョン: EOO-19
 ●バージョン: EOO-20

スマート時計 SMART CLOCK

2014年 開発・販売開始
 2014年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 スマート時計
 ●バージョン: SC1100E
 ●バージョン: SC1100F
 ●バージョン: SC1100G
 ●バージョン: SC1100H
 ●バージョン: SC1100I
 ●バージョン: SC1100J
 ●バージョン: SC1100K
 ●バージョン: SC1100L
 ●バージョン: SC1100M
 ●バージョン: SC1100N
 ●バージョン: SC1100O
 ●バージョン: SC1100P
 ●バージョン: SC1100Q
 ●バージョン: SC1100R
 ●バージョン: SC1100S
 ●バージョン: SC1100T
 ●バージョン: SC1100U
 ●バージョン: SC1100V
 ●バージョン: SC1100W
 ●バージョン: SC1100X
 ●バージョン: SC1100Y
 ●バージョン: SC1100Z

スマートメーター SMART METER

2015年 開発・販売開始
 2015年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 スマートメーター
 ●バージョン: SM1100E
 ●バージョン: SM1100F
 ●バージョン: SM1100G
 ●バージョン: SM1100H
 ●バージョン: SM1100I
 ●バージョン: SM1100J
 ●バージョン: SM1100K
 ●バージョン: SM1100L
 ●バージョン: SM1100M
 ●バージョン: SM1100N
 ●バージョン: SM1100O
 ●バージョン: SM1100P
 ●バージョン: SM1100Q
 ●バージョン: SM1100R
 ●バージョン: SM1100S
 ●バージョン: SM1100T
 ●バージョン: SM1100U
 ●バージョン: SM1100V
 ●バージョン: SM1100W
 ●バージョン: SM1100X
 ●バージョン: SM1100Y
 ●バージョン: SM1100Z

日本テクノ設立25周年記念特別企画の第3弾は、当社がこれまで発売してきた商品「主装置E500シリーズ」「SMART METER ERRIA」「SMART CLOCK」「EEO-TENANT」EUSC、それぞれの開発背景と進化の軌跡を紹介する。

2012年 開発・販売開始
 2012年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 環境指向型多機能モニター付スマートメーター
 ●バージョン: ERRIA-1
 ●バージョン: ERRIA-2
 ●バージョン: ERRIA-3
 ●バージョン: ERRIA-4
 ●バージョン: ERRIA-5
 ●バージョン: ERRIA-6
 ●バージョン: ERRIA-7
 ●バージョン: ERRIA-8
 ●バージョン: ERRIA-9
 ●バージョン: ERRIA-10
 ●バージョン: ERRIA-11
 ●バージョン: ERRIA-12
 ●バージョン: ERRIA-13
 ●バージョン: ERRIA-14
 ●バージョン: ERRIA-15
 ●バージョン: ERRIA-16
 ●バージョン: ERRIA-17
 ●バージョン: ERRIA-18
 ●バージョン: ERRIA-19
 ●バージョン: ERRIA-20

2016年 開発・販売開始
 2016年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 環境指向型多機能モニター付スマートメーター
 ●バージョン: ERRIA-1
 ●バージョン: ERRIA-2
 ●バージョン: ERRIA-3
 ●バージョン: ERRIA-4
 ●バージョン: ERRIA-5
 ●バージョン: ERRIA-6
 ●バージョン: ERRIA-7
 ●バージョン: ERRIA-8
 ●バージョン: ERRIA-9
 ●バージョン: ERRIA-10
 ●バージョン: ERRIA-11
 ●バージョン: ERRIA-12
 ●バージョン: ERRIA-13
 ●バージョン: ERRIA-14
 ●バージョン: ERRIA-15
 ●バージョン: ERRIA-16
 ●バージョン: ERRIA-17
 ●バージョン: ERRIA-18
 ●バージョン: ERRIA-19
 ●バージョン: ERRIA-20

2017年 開発・販売開始
 2017年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 環境指向型多機能モニター付スマートメーター
 ●バージョン: ERRIA-1
 ●バージョン: ERRIA-2
 ●バージョン: ERRIA-3
 ●バージョン: ERRIA-4
 ●バージョン: ERRIA-5
 ●バージョン: ERRIA-6
 ●バージョン: ERRIA-7
 ●バージョン: ERRIA-8
 ●バージョン: ERRIA-9
 ●バージョン: ERRIA-10
 ●バージョン: ERRIA-11
 ●バージョン: ERRIA-12
 ●バージョン: ERRIA-13
 ●バージョン: ERRIA-14
 ●バージョン: ERRIA-15
 ●バージョン: ERRIA-16
 ●バージョン: ERRIA-17
 ●バージョン: ERRIA-18
 ●バージョン: ERRIA-19
 ●バージョン: ERRIA-20

2018年 開発・販売開始
 2018年 1月1日度の高圧受変電設備の点検だけでは事故の予兆を的確に把握するのは難しいのではないか。設備利用者が本心に心配しているのは実は電気事故だ。停電や漏電などの突発的な事故に適切に対処できる機器が欲しい。というお客様の声を聞いた当社の代表取締役社長・馬本英一は、高圧受変電設備を24時間・365日監視できる機器の開発に取り組んだ。日本テクノの設立は前年。当時本社は神奈川県相模原市にあった。そこで馬本は当時加入していた相模原市の商工会議所・工業部会にあって「青年工業経営研究会」のメンバーと相談しながら、監視装置の開発を進めた。1996年にはE500シリーズの1号機が完成し、販売を開始した(登録商標:第4574438号)。

【主要な機能】
 環境指向型多機能モニター付スマートメーター
 ●バージョン: ERRIA-1
 ●バージョン: ERRIA-2
 ●バージョン: ERRIA-3
 ●バージョン: ERRIA-4
 ●バージョン: ERRIA-5
 ●バージョン: ERRIA-6
 ●バージョン: ERRIA-7
 ●バージョン: ERRIA-8
 ●バージョン: ERRIA-9
 ●バージョン: ERRIA-10
 ●バージョン: ERRIA-11
 ●バージョン: ERRIA-12
 ●バージョン: ERRIA-13
 ●バージョン: ERRIA-14
 ●バージョン: ERRIA-15
 ●バージョン: ERRIA-16
 ●バージョン: ERRIA-17
 ●バージョン: ERRIA-18
 ●バージョン: ERRIA-19
 ●バージョン: ERRIA-20

GIFT street 大募集!

出品企業さま ぜひ出品をご検討しませんか?

初期費用 システム手数料 月額費用 売上手数料 無料!

電話や訪問によるサポートも充実

GIFT street 係 0120-308-498

日本テクノ ギフトストリート

https://www.gift-street.com

GIFT map 後継者問題でお悩みの方 お気軽にご相談ください

ご提案 M&A 事業譲渡 業務提携 合併・会社分割 株式譲渡

後継者不在・事業承継問題解決

ご契約事例ピックアップ(事業譲渡)

湯内内装株式会社

TEL: 03-5909-7019

MAIL: support@gift-map.jp

https://gift-map.jp/



創業180年の歴史を守り 異業種とのコラボでのれんを未来につなぐ

日本テクノのビジネスマッチングサービス「GIFT map」による事業譲渡が成立し、2019年4月、埼玉県吉川市で成約式が行われた。後継者不在に悩む経営者と機会損失を抑えたい企業の双方の思いが結びつき、歴史ある企業ののれんが未来につながった。



(2019年4月 成約式時点)

創業180年の歴史を守り、異業種とのコラボでのれんを未来につなぐ。日本テクノが提供している、お客様同士のM&Aなどを仲介するビジネスマッチングサービスの紹介。全国約5万8000件のネットワークを生かした事業譲渡や商品・サービスの共同開発、ホールディングス化などあらゆる可能性を探っていく。サービスの登録は、日本テクノと取引のある企業に限定しており、高い信頼性を保てる。中小企業の深刻な後継者不足問題の解決に貢献していくことを目指す。

創業180年の歴史を守り、異業種とのコラボでのれんを未来につなぐ。日本テクノが提供している、お客様同士のM&Aなどを仲介するビジネスマッチングサービスの紹介。全国約5万8000件のネットワークを生かした事業譲渡や商品・サービスの共同開発、ホールディングス化などあらゆる可能性を探っていく。サービスの登録は、日本テクノと取引のある企業に限定しており、高い信頼性を保てる。中小企業の深刻な後継者不足問題の解決に貢献していくことを目指す。

今回のM&Aが成立した要因には大きく分けて4つのポイントがあった。①創業180年の歴史を守り、異業種とのコラボでのれんを未来につなぐ。日本テクノが提供している、お客様同士のM&Aなどを仲介するビジネスマッチングサービスの紹介。全国約5万8000件のネットワークを生かした事業譲渡や商品・サービスの共同開発、ホールディングス化などあらゆる可能性を探っていく。サービスの登録は、日本テクノと取引のある企業に限定しており、高い信頼性を保てる。中小企業の深刻な後継者不足問題の解決に貢献していくことを目指す。

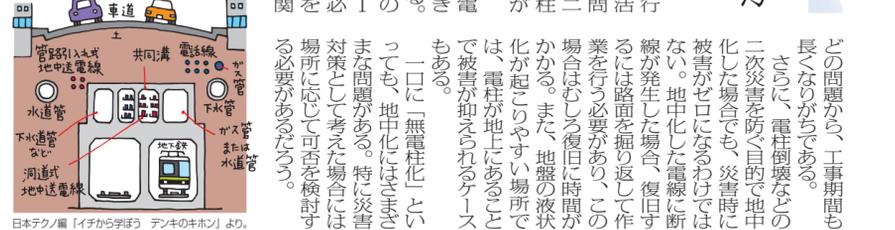


M&A成立を喜び両経営者。有限会社 ますやの横川則雄さんと湯本内装 株式会社の湯本茂作さん。

のれんを未来につなぐ。日本テクノが提供している、お客様同士のM&Aなどを仲介するビジネスマッチングサービスの紹介。全国約5万8000件のネットワークを生かした事業譲渡や商品・サービスの共同開発、ホールディングス化などあらゆる可能性を探っていく。サービスの登録は、日本テクノと取引のある企業に限定しており、高い信頼性を保てる。中小企業の深刻な後継者不足問題の解決に貢献していくことを目指す。

第8回 地上(電柱)か、地中か 電線の敷設場所

街の景色の一部になっていく電柱。実は、こうした風景は日本ならでは。他の先進国では電線を地中に埋め、地上に架設しない方法が主流になっている。日本でも、地中化するなどで道路から電柱をなくす「無電柱化」を目指す動きはある。だが、最も無電柱化率が高い東京都でも、無電柱化されている道路はわずか約10%。2017年度末国土交通省調査。電柱の多くは、戦後の急速な復興のため、日本各地で張り巡らされてきた。その結果、現代の日本では林立する電柱が歩行者や車いす利用者の通行を妨げ、安全・円滑な交通の確保を困難にし、良好な都市景観を損ねるようになってきた。また、近年の地震や台風といった災害時には、



テックの《電気の資格》Q&A

〈1〉電気工事士

Q 電気工事士ってどんな資格?

電気工事士は、一般住宅やビル、店舗、病院、工場など、建物の電気設備の設計・施工を行うことができる資格。日本では「電気工事士」の資格がなければ、特定の電気工事の作業をしてはいけない。電気工事士法で決められている法律や電気工事士法という法律で決められている。知識がないと思われがちだが、実は、新築やリフォームのときの屋内配線工事やエアコン設置時のコンセント増設などが電気工事士の仕事に当たる。また、電気工事士の資格がない人が特定の電気工事を行うと罰則が適用されるので注意が必要。電気工事士は電気工事士に任せよう。

Q 資格を取るにはどうすればいいの?

電気工事士は国家資格で資格を得るためには、一般財団法人 電気技術者試験センターが実施する試験を受験しなければならない。試験内容は、年齢・性別・学歴・実務経験といった制限がない。誰でも受験できる。また、電気工事士は「第一種」と「第二種」に分けられていて、それぞれ業務内容が異なる。一般的に第一種電気工事士の方が取得するのが難しく、その分、第二種より作業範囲が広がり、責任も大きくなる。作業範囲の区分については、第一種は、一般家庭や商店などの低圧で受電する設備の工事。第二種は、第一種がその範囲に加え、最大電力500V以下の受電設備の電気工事までできる。

着物は究極の循環型グッズ

今こそモノであふれている日本だが、江戸時代は資源が乏しく、人々は限られた物品を繰り返し使って生活する循環型社会を実現していた。このコーナーでは江戸時代のエコな暮らしをのぞきながら現代社会と比較していく。

江戸

江戸時代の庶民の循環型社会。つまり「エコな暮らし」を代表するものが着物だ。着物は西洋の着衣と違って、細長い反物と直線で作られている。そのため、端切れはほとんど出ず、縫い直しで再利用される。着物は西洋の着衣と違って、細長い反物と直線で作られている。そのため、端切れはほとんど出ず、縫い直しで再利用される。

令和

現代では同じ衣服を着直しながらすと着続けることはなかなかないが、フリーマーケットや古着屋で服を買ったり売ったりしている人々もいる。着物は、江戸時代は生活の一部として当たり前存在し、特別に意識するものでもなかった。現代社会で江戸時代のような徹底した衣類の使い回しは難しいが、フリーマーケットや古着屋、掃除機などの利用など、できる範囲での活用が大切になってきた。

古来の言葉と環境知識

古くから言い伝えられてきた慣用語やことわざ。故事成語を見出し、立ててそこから想起される自然環境やそれに対する人の行い、さらには環境問題への提言などを軽やかな口調でつづる。1997年に刊行された森林生態学の入門書として読み継がれてきた書籍の新装版。初版から20年以上たつが内容は少しも古びていない。

森林生態学という耳慣れない学問に加え、重々しい故事成語となると難解なイメージを持つだろうが、その懸念ははらわ

COOLBIZ 職場も服装も風通しよく

未来のために、いま選ぼう

「COOL CHOICE」とは、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してみませんか。

※出典:環境省 Webサイト

日本テクノで一緒に働きませんか?

全国で積極採用中!

0120-308-498 (受付時間 9:30~17:00 土日・祝日を除く)

働き方改革の一環としてさまざまな取り組みを実施しています

- 働き方改革アクションプラン
- TOKYO働き方改革宣言企業
- 「トモニ」マーク取得
- スムーズビズ ○東京都 時差Biz
- 2020TDM推進プロジェクト
- 「えるぼし」認定

詳しくは 日本テクノ ホームページにてご確認ください!

新卒 エントリー受付や会社説明会の日程をご案内。社員インタビューや先輩社員の1日も紹介しています。 <https://recruit.n-techno.co.jp>

キャリア 営業職、電気主任技術者、電気工事士、事務職を募集しています。業界トップクラス企業としてさらに前進します。 <https://www.n-techno.co.jp/recruit/careers/>

GIFTキャディ 家事・育児の合間に働く営業アシストを全国で大募集! ※日本テクノでは、営業アシストを「GIFTキャディ」と呼称します <https://www.n-techno.co.jp/recruit/giftcaddy/>

障がい者 障がい者が働きやすい職場環境づくりを推進しています。東京本社および沖縄にあるテクノ・サテライト・オフィスを中心に障がい者雇用積極的に取り組んでいます。 <https://www.n-techno.co.jp/recruit/challenged/>

お客様を大切に思い

悩みを正確に理解する

カスタマーサービスセンターは当社商品・サービスの全般の問い合わせへの対応を行っています。SMART ERIAやSMART LOCKといった商品をはじめ、デマンド閲覧サービスやお客さまマイページといったサービスに対して、1日に100から150件ほどのお問い合わせがあり、電話を中心に対応しています。特に最近ではお客さまの悩みを正確に理解し、対応することも重要で、こちらに理解するまで、正確な対応時間短縮や、結果的にスピードアップにつながっています。

モットーはスピード・正確・丁寧

スピードです。当センターにお電話いただくのは、何かしらの問題が発生し、困っているお客さまです。そのお客さまの困っていることをお察し、スピーディに解決する、そのような体制を私は理想としています。ただし、スピードさ早ければよいかというとそうではなく、お客さまの悩みを正確に理解し、対応することも重要で、こちらに理解するまで、正確な対応時間短縮や、結果的にスピードアップにつながっています。それに加えて、お客さまを大切にすることも忘れてはならないと考えています。お客さまの会話では必ず内容を復唱して、行き違いないよう丁寧な対応を心がけています。私は現状に満足していません。もっとお客さまのためにできることがないかと考えています。今年5月には、夏場のお問い合わせ増加に伴う一時的な措置として、電

もっとできることはないか、日々考え続ける

話を増設し、対応できる社員の育成を行いました。お問い合わせの入電状況により対応する社員の人員配置をスピーディーに行い、お客さまを少しでもお待たせすることになり、対応できるようになりました。今後もサービス向上のために、挑戦し続けていきます。

私たちが仕事のやりがいは、お客さまからの感謝のお言葉によって支えられています。一方で、私たちの対応が十分でない、ちょっとしたミスや、お客様の言いがたがあったり、お叱りを受けることもあります。お叱りを受けたときは、必ず心に受け止めて、必ず次に生かせるようセンター内のメンバー共有し、同じ失敗は二度と繰り返さないよう強い意志で、改善に努めています。



テクノ・サテライト・オフィス カスタマーサービスセンター長 高良 淳



各部署キーパーソンが語る 日本テクノ 社員群像



地球の仲間を守る 生物多様性レポート

生物多様性保全の第一歩 見る、知る、関心を持つ

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された国連環境開発会議(地球サミット)で2つの条約の署名が開始された。いずれも世界規模の環境問題に対する取り決めで、双子の条約といわれる「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」である。このうち生物多様性条約で地球温暖化対策「パリ協定」を採択する注目度は高い。だが後者の一般の関心はそれほど高くない。昨年10月に内閣府がまとめた世論調査では「生物多様性」の言葉を一問いたくともなかった人は全体の半数近く(47.2%)もいた。認知度を上げ、社会に浸透させる生物多様性の主流化が課題であり、その一助になるよう小欄でもこれまで関連記事を8回連載

No.	主な内容/タイトル/取材先/掲載号
1	子どもがメダカの里親に...環境教育プログラム 【生物多様性を維持するのは自分たちの手】 名古屋市東山動物園 今西鉄也さん 2018年夏季 第53号
2	絶滅危惧種の甲虫を繁殖させる活動も実施 【好きでも嫌いでもない、まずは関心をもて】 伊丹市昆虫館 長島聖大さん 2018年秋季 第54号
3	学生主体のウナギ再生プロジェクト 【次世代に美しい海を残したい】 やがわ有明海水族館 小宮春平さん 2019年冬季 第55号
4	飼育放棄されるミドリガメの引き取り活動 【目を向けるよう外来種問題】 体感型動物園 I2oo (イズー) 白輪剛史さん 2019年春季 第56号
5	人間活動が鳥の生態系に与える影響を研究 【耕作田と放棄田どちらも鳥の暮らし場所】 福井市自然史博物館 出口翔太さん 2019年秋季 第57号
6	生物多様性の評価方法を提案 【アプリで環境保全、周りの生物が宝物に変化】 株式会社バイオエス 藤木庄五郎さん 2019年秋季 第58号
7	持続可能な海洋資源の実現を目指し啓発活動 【料理を通して訴求 海のサステナビリティに】 Chefs for the Blue 佐々木ひるこさん 2020年冬季 第59号
8	シカの獣害対策に新しい食文化を提案 【生物多様性も多様性が大切】シカ肉料理で獣害対策 アイデア研究会 林真理さん 2020年春季 第60号

してきて、見えてきたのは、現場も同じ危機感を抱き、まずは知ってほしいと願っている。連載初回に登場した環境教育プログラムを実施する名古屋市東山動物園の担当者、生物多様性の重要性を、その一助になるよう小欄でもこれまで関連記事を8回連載してきて、見えてきたのは、現場も同じ危機感を抱き、まずは知ってほしいと願っている。連載初回に登場した環境教育プログラムを実施する名古屋市東山動物園の担当者、生物多様性の重要性を、その一助になるよう小欄でもこれまで関連記事を8回連載してきて、見えてきたのは、現場も同じ危機感を抱き、まずは知ってほしいと願っている。

府がまとめた世論調査では「生物多様性」の言葉を一問いたくともなかった人は全体の半数近く(47.2%)もいた。認知度を上げ、社会に浸透させる生物多様性の主流化が課題であり、その一助になるよう小欄でもこれまで関連記事を8回連載してきて、見えてきたのは、現場も同じ危機感を抱き、まずは知ってほしいと願っている。

「生態系動物園」(エコイニ)という声があがっている。乱獲による水産資源の減少を止めようとする意識改革に取り組み、消費者の意識改革に「水産に関するニュース」も注目されていく。

「エコテナント」とは

一般的なテナントビルは、ビル全体で一括受電しているため、電気料金はビルオーナーが電力会社へまとめて支払っている。オーナーはテナントの使用分を立て替えるため、個々のテナントに対し、それぞれに応じた電気料金を請求する。そこには子メーターの検針、料金算出、請求管理といった手間のかかる業務が伴う。



東京都港区●深瀬ビル

【エコテナント】は、オーナーをわずらわしていたそれらの業務をすべて代行するサービスである。既存の子メーターは自動検針のスマートメーターに変更され、月々の使用量は日本テクノに伝送される。オーナーとテナントの双方にとって、ともに信頼性を高められるシステムである。

有限会社 山市湯川商店 こだわりの干物

創業100年を誇る老舗干物店・山市湯川商店(神奈川県小田原市)。社長の湯川仁さんは「自分の子でいたい」と言われ続けている干物をつくるのが私の信条。長年培った自力と経験で、一切の妥協なく干物づくりに取り組んでいます。原の魚市場に出かけ、その日にれた魚から干物の大きさを調整し、入れている。仕入れた魚は種類、大きさによって切り方を考え、開きをつくる。血合いや自然を大切にすることを養ってほしいと話した。ほかにも「好きでも嫌いでも構わないで関心をもっとほしい」(伊丹市昆虫館)、「地元で生きている生き物を知りたい」(環境活動の担当者)、「やがわ有明海水族館」の多くの人に外館、「多くの人に外館」(体感型動物園)、「エコイニ」の声を聞かれています。乱獲による水産資源の減少を止めようとする意識改革に取り組み、消費者の意識改革に「水産に関するニュース」も注目されていく。



GIFT streetは日本テクノの会員向けサービス。同社発行のGIFTポイントに応じた商品(ギフト)と交換できる。ここでは、出品商品の中から、こだわりの「逸品」を提供企業とともに紹介していく。



内蔵をきれいに取り除くことが品質に直結するため、同社ではあえて包丁による昔からの手作業を行っている。開いた魚は秘伝の漬け汁に漬ける。漬け汁の塩分濃度や量、漬ける時間などはその日の天候・温度・湿度などによって微妙に変えていくが、詳細は企業秘密だ。

江戸より続く歴史ある街、港区麻布十番。深瀬ビルは地下鉄麻布十番駅にほど近い一角にある地下1階・地上7階建てのテナントビルだ。以前から日本テクノに保安点検サービスを依頼していたが、2019年5月、営業担当よりエコテナントについて詳細を聞いたオーナーの深瀬貴之さんはメリットを理解し導入を決めた。

テナントビル向けサービス ECO-TENANT

《ユーザーレポート》

物件管理業務に集中でき、テナント配慮に傾注

「電気以外の管理業務に集中できるようになり助かっています。5月現在、テナントさんが新型コロナウイルスの影響に苦しんでいます。この状況が今後免除の検討が必要になるでしょう。もし今のテナントさんが退去した場合、この状況下では次の借り手がスムーズに見つからない可能性もある。1991年の竣工時に入居したテナントさんも多いので、できるだけ力になれるよう、有効な手を打ちたいですね。電気関連の事務作業がなくなり、テナント配慮の方向に傾注できる時間が増えました。深瀬さんの思いは有効な支援となって届いていくだろう。」



オーナーの深瀬貴之さん。

「省エネの達人」に学ぶ エコノウハウ

「省エネの達人『企業編』は、大きな成果を上げている省エネ活動の実例動画が視聴できるサイト。数あるノウハウの中から今回は、空調や冷蔵庫など電気設備の使い方について参考になる2例を紹介する。

<https://eco-tatsujin.jp/>

【第228回】メモリアルホールみよの社

共用の大型機を個別の室外機に

福島県いわき市にある葬儀場、メモリアルホールみよの社は、空調についての複数の取り組みで省エネ効果を高めている。

まずは新しい空調設備に入れ替えたこと。それで消費電力は3分の1に下がった。台数も4台から2台に減らし、適温を保てるのは片方だけの稼働にする。以前は大型の室外機1台ですべてを共用していたが、それを個別にした。これで室外機も同時に止められ、電力消費も減らされる。

【第356回】フレッシュマート 松浦店

冷蔵ショーケースは人の手で温度設定

長崎県松浦市のスーパーマーケット、フレッシュマート松浦店では省エネ活動に当たり、まず電力消費の大きい冷蔵ショーケースの稼働を見直した。

それまでの温度設定は機械任せだったが、入り口ドアが開き屋外の熱気が店内に入り込んだときなどは必要以上に冷やしてしまう。そこで、ケース内の温度を確認しながら人の手で設定するの吹き出しが安定し、省エネが実現した。

テナントビルの電気料金に関するお悩みを解決!

ECO-TENANT

検針・請求・支払いのお悩みを日本テクノが解決します!

子メーターをスマートメーター化 自動検針システムを導入

電気料金の請求・回収業務をまとめて代行

0120-308-498 受付 9:30~17:00 (土・日・祝日を除く)

<https://eco-tenant.jp>

さまざまな種類の省エネ活動をご紹介します

省エネの達人 企業編

コラムの内容をちょっとだけお見せします!

電化製品の待機時消費電力を知ってさらなる省エネを

待機時消費電力(または待機電力)とは、コンセントに接続された電化製品のスイッチをオフにしている状態でも消費する電力のことをいいます。リモコンで電化製品をオフにした状態、つまりスイッチをオフにしているにもかかわらず、コンセントにつながっているだけで一定量の電力を常に消費し続けています。今回のコラムでは待機時消費電力が生じる理由と対策について、ご紹介します。

続きはWEBで!

<https://www.eco-tatsujin.jp>

特別再掲

注意！水害、落雷、夏に多発する自然災害

2018年の7月には14府県で260人以上が犠牲になった西日本豪雨がいった。発生から2年を迎えるその災害の記憶は、いまだ鮮明に残っている。さらにはこれからの季節は、落雷の被害が多発する。2005年からの12年間で気象庁に報告された落雷の約3割が8月に集中し、次いで多いのが7月だ。自然災害が数増す時期。過去本紙で掲載した、万が一の事態に対する注意喚起の記事を再掲し、もう一度、備えを呼びかけたい。なお、時系列の整合性を考慮し、当時の記事の一部修正・加筆をしている。



土砂が斜面を崩れ、埋設されたケーブルが露出する被害があった。

地球温暖化によって台風の強風域が拡大し、大型化するという研究結果が海洋研究開発機構と東京大学のチームより2017年に発表された。温暖化により台風の雲が高くなり、雲の下の気圧が低下し、強風域が広がるという。2017年に日本に上陸した台風では、日本テックノキューブが集中する都市圏をはじめ、山間部などでもさまざまな被害が報告された。例えば、斜面の土砂が崩れて埋設されている高圧ケーブルがむき出しになる、河川の氾濫で変電設備が浸水したなど、温暖化の進行を避ける環境保全活動はもろもろ大切だが、今後は事業活動に欠かせない電気設備の事故を防ぐことも重要だ。

土砂崩れ、河川氾濫、そのとき電気設備は…

未然に防ぐ対策が、重要になってくる。屋上に設置された電気設備やキュービクルなどは、内部に雨水や雪が浸入する危険性があるほか、強風により扉が開くなどの原因から絶縁低下して事故を起こすこともある。自然災害への対応が不十分なままでは、常に危険と隣り合わせだ。電気事故が発生した場合は、事業活動の一時停止を余儀なくされるだろう。それが波及事故につながる場合、周辺環境に多大な迷惑をおよぼすなど、社会的・経済的に与える影響はさらに大きくなる。

台風や暴風雨などへの事前の対応措置や、月次・年次点検の徹底など、さまざまな対策を講じておくことが、電気事故を未然に防ぐための第一歩だ。特にこれからの季節、その対策を怠らない姿勢が求められる。

被害額は膨大、「避雷器」で損失を防ぐ

防ぐには避雷器(ライトニングアレスター)やサージプロテクター(以下SPD)が有効だ。LAまたはLA内蔵のPAS(高圧気中負荷開閉器)を導入することで、写真のような高圧受変電設備の事故は防ぐことができる。また、落雷被害で最近問題になっているのがパソコン、サーバーなどのOA機器や、電源ケーブル(まれに通信ケーブル)から強い電流が流れ込み、機器の損傷や焼損などが生じている。これを防ぐ対策には、瞬間的な大電流を逃がすSPDの設置がある。このように落雷対策には各種の避雷器が欠かせないが、地域特性や業務内容により設置する機種は異なる。また電流を逃がす正しい接地システムも必要だ。電気管理技術者や専門業者に相談し、自所に適した避雷器で被害を最小限に食い止めてほしい。

備えは万全か 災害時の電気事故(番外編)



絶縁体による誘導電流によるPAS損傷例。緑色の絶縁体が破損している。

保安管理緊急対応事例

愛知県名古屋市長 愛知県港花き地方卸売市場

7月9日の午後11時頃、スパーク音とともに工場内の機械が一時にストップした。停電を受けた日本テックノ監視センターでは、各所への連絡と詳細の確認を行った。この日はちょうど砕石機のモーター交換を予定していた。田島は立ちあがりも確認し、現場に駆けつけました。普段から親身に相談に乗ってくれる技術者がいてくれたのは不幸中の幸いでした(生産グループ主任・上金さん)。

原因究明、緊急工事、復電——夜を徹した事故対応

- 埋設路内の雨水が徐々にケーブルに浸透
- 20:14 停電発生。日本テックノ監視センターから担当技術者に緊急対応の連絡。
 - 21:10 技術者、現場到着。続いて日本テックノ保安部員も到着。調査開始。
 - 23:50 高圧ケーブルに絶縁不良発見。監視センターが協力工事に緊急工事を要請。
 - 06:30 協力工事に会社の連絡が完了。仮設ケーブルの敷設工事を依頼。
 - 09:10 仮設ケーブル敷設工事を開始。
 - 10:58 工事完了。担当技術者が動作確認試験を行い、電力復旧。

切花などの1日の平均取引量約100万本を卸す愛知県港花き地方卸売市場(愛知県名古屋市長)で、7月9日(土)の夜、夜間の停電が発生した。停電発生を受けた日本テックノ監視センターから、担当技術者である日本テックノ協会の平林氏に、石島は即座に現場に向かい緊急対応に当たった。

停電発生は7月9日の20時14分。月曜の夜だった。同市場組合事務局長の平林氏は「監視センターから停電の知らせを受け、私も急いで現場に向かいました。花きは鮮度が大切なので、市場は全館空調を完備しています。またセリはコンピュータで行うので、停電は事業運営に大きな支障をきたさない。一刻も早く復旧してほしい」と振り返る。

技術者の石島はまずSOG(保護継電器)制御装置の点検から始め、電気室内の異常警報表示や各所電気設備の目視点検を実施した。だが特に異常はない。そこで引き込みケーブル側と高圧機器側に分けて絶縁の測定を試みた。すると、ケーブル側で絶縁不良を発見。原因が判明した。即座に監視センターと保安部に連絡を入れ、協力工事に伴って仮設ケーブルの用意と敷設工事の手配を依頼した。深夜のため、工事に伴ってケーブルの敷設は難航したが、早朝に依頼の手配が完了し、翌10日の9時過ぎには工事を開始。10時58分に電力は無事復旧した。

後日行われた高圧ケーブルのメーターによる調査の結果、ケーブル埋設路に侵入した雨水が徐々にケーブルに浸透する「ウォーターリー現象」が、絶縁不良を招いていたことがわかった。電気設備の運営・管理には問題がなかったため、日本テックノの電気設備保証サービスが適用され、ケーブル敷設を含む工事費用は全額保証となった。

事故発生を思い返し、平林氏は「上層部や市場スタッフのかさねが、気がついてほしい。また24時間監視システムも石島さんの機敏な対応がなければ発見も遅れていたはずだ。保安管理の大切さを実感しました」と話す。

保安管理緊急対応事例

茨城県笠間市 岡本興業 株式会社 笠間工場

2018年7月、砕石事業を行う岡本興業株式会社笠間工場(茨城県笠間市)で突然、通電が止まった。周辺にも停電が波及する事故だった。偶然の場面に居合わせた日本テックノ協力会・日電協の担当技術者、田島洋は、的確な復旧工事への指示、電力会社の協力を、事故原因の究明など対応に尽力した。

数日前、電力会社の施設に落ちた雷が事故の原因 周辺の復電を優先し、現場の停電も即日復旧

- 数日前、電力会社の施設に落ちた雷が事故の原因
- 10:53 停電発生。日本テックノ監視センターが電力会社へ事故詳細を確認。
 - 11:05 担当技術者が別件で訪問しており、その場で被害状況を確認。
 - 11:29 電力会社が訪れ、周辺の停電を解除。
 - 11:35 PAS交換承諾後、監視センターが協力工事に緊急工事を要請。
 - 15:50 協力工事がPAS交換工事を開始。
 - 18:16 工事完了。担当技術者が耐圧試験と継電器試験を行い、電力復旧。

7月14日の午前11時頃、スパーク音とともに工場内の機械が一時にストップした。停電を受けた日本テックノ監視センターでは、各所への連絡と詳細の確認を行った。この日はちょうど砕石機のモーター交換を予定していた。田島は立ちあがりも確認し、現場に駆けつけました。普段から親身に相談に乗ってくれる技術者がいてくれたのは不幸中の幸いでした(生産グループ主任・上金さん)。

7月14日の午前11時頃、スパーク音とともに工場内の機械が一時にストップした。停電を受けた日本テックノ監視センターでは、各所への連絡と詳細の確認を行った。この日はちょうど砕石機のモーター交換を予定していた。田島は立ちあがりも確認し、現場に駆けつけました。普段から親身に相談に乗ってくれる技術者がいてくれたのは不幸中の幸いでした(生産グループ主任・上金さん)。

しかし当日の天気は晴天。4月以前の年次点検でもPASの異常はなかった。そこで田島は「数日前の雷で異常が発生したのではないかと推測し、メーターに原因の特定を依頼。結果、ガイソ部分に誘導電流の侵入した痕跡が確認された。電力会社の施設などに落ちた雷が誘導電流を生じさせたと思われる。」

それにより絶縁破壊が起き、雨水が入り時間差のある回路短絡を招いたとの見解を得た。この検証で落雷起因の事故と認定され、工事費用は日本テックノの電気設備保証サービスが適用された。

上金さんは「的確な判断で対応してくれたこと、保証適用のため粘り強く行動してくれたこと……本当に心強い存在です。田島さんの助言のおかげで、これからも電気を安全に使っていきます」と話した。



誘導雷によって絶縁破壊が起きたPAS。下部が崩れ、奥の2つのガイシには煤が付着しているのが確認できる。

安全・安心! 日本テックノの 保安点検サービス 3つのメリット!

- 1 コストを下げる**
民間ならではのコストを抑えた安全で安心な保安点検・管理をご提供します!
- 2 電気を見守る**
独自に開発した「ES SYSTEM」がキュービクルの稼働を24時間監視!
- 3 緊急で駆けつける**
監視センターは電気事故の発生をスピーディーに把握緊急応動します!

安全ポスターダウンロードできます!

日本テックノオリジナルの「電気使用安全月間」ポスターを配付中! オフィスや事業場に掲示するなど、ご自由に活用ください。

2018年 電気使用安全月間
2019年 電気使用安全月間
2020年 電気使用安全月間

「コンセントがどっさり」で安全! 対応できる

安全第一!

読めば誰かに話したくなる!

Eco News Web Magazine

人気コンテンツをご紹介

身近な電気のあまり知られていない話

あまり知られていない電気のあれこれを紹介するコーナー。過去に環境市場新聞に掲載した内容はこちらから読み返せます!

なぜコンセントの形は国によって違うの?
なぜ電線の周りは感電しないの?

日本テックノ エコニュース | <https://econews.jp/>

日本テックノの電気設備保安・保証サービス*なら、高圧受変電設備など各機器の交換が必要な場合でも、しっかりサポート!

*設備の経過年数などにより保証サービスにご加入いただける場合があります。詳細はお問い合わせください。

TECHNO キュービクル 日本テックノの保安点検・新設

日本テックノ キュービクル 検索 <https://cubicle-hoan.jp>

SMART CLOCK



お客様の声

SMARTMETER ERIA



日本テクノでは定期的に「SMART CLOCK (スマートクロック)」「SMARTMETER ERIA (スマートメーターエリア、以下:ERIA)」の導入企業を広報担当者が訪問し、事例集を作成している。すでに数百もの事例をストックしており、現在も新たな「お客様の声」をリストに追加している最中だ。この紙面では、その中から4つの取り組みをピックアップして紹介していく。



園長の山崎直子さん。

子どものうちから省エネ意識を根づかせたい

認定こども園 あかさかりんびニー園 <http://www.lumbini.or.jp/>

「30年前、研修でヨーロッパに行ったとき、子どもと一緒に環境問題を考えるという幼稚園がありました。子どもは大人が言う以上の物事を理解できて感動し、それからは積極的に地球環境のことを話していました」と語る山崎園長は、佐賀県有田町にある認定こども園あかさかりんびニー園の園長・山崎直子さんだ。

幼稚園と保育園が統合された形の認定こども園。これまで保護者も12カ月分のエコ計画を策定し、実施してきた。今年も水道利用の無駄をなくすため、コップ一杯だけの水(約200ml)と「たった1ヶ月ごとのテーマを決めて取り組みを進めている。着実にいろいろな取組を積み重ねる。そのうち省エネ意識の高まりが、園のモットーに「すべての子どもに幼児教育を」。コマや野菜を育てる食育も力を

を「30年前、研修でヨーロッパに行ったとき、子どもと一緒に環境問題を考えるという幼稚園がありました。子どもは大人が言う以上の物事を理解できて感動し、それからは積極的に地球環境のことを話していました」と語る山崎園長は、佐賀県有田町にある認定こども園あかさかりんびニー園の園長・山崎直子さんだ。

幼稚園と保育園が統合された形の認定こども園。これまで保護者も12カ月分のエコ計画を策定し、実施してきた。今年も水道利用の無駄をなくすため、コップ一杯だけの水(約200ml)と「たった1ヶ月ごとのテーマを決めて取り組みを進めている。着実にいろいろな取組を積み重ねる。そのうち省エネ意識の高まりが、園のモットーに「すべての子どもに幼児教育を」。コマや野菜を育てる食育も力を

環境教育への活用



株式会社 岡畑農園は、和歌山県田辺市で自家栽培の本紀州梅を使い、梅干しを中心にさまざまな商品を生産・販売する企業。独自の調味液に漬けた梅干しを調整していく技術を持ち、梅のおいしさを引き出しながら栄養も損なわない。栽培には農薬の使用を最小限に抑え、そのうえ自主的に残留農薬の検査を義務づけて安全性を徹底している。

こうした品質保持には当然コストがかかる。だがそれを消費者に負担させるわけにはいかない。そこで2018年7月、日本テクノの電気の見える化を導入し、品質に影響

働き方の見直し



作業を前後に分散し、8月は3週間休業

株式会社 岡畑農園 <https://okahatanouen.co.jp/>

梅の及ばない部分でエネルギー使用の無駄を洗い出し、改善していく取り組みに着手した。導入当初はSMART CLOCKがアラームを発生する外、事務所と製造現場以外の空調を一時停止するなどして乗り切った。

導入後は、梅干しを乾燥させるための温度を工場稼働に合わせて追加生産するなどの、これまでの工場稼働が途切れることはなかった。それが勤務体制の変更でコスト削減ができ、大きな自費につながった。次は冬の閉歇期にも作業を分散して振り分け、平準化できないが検討していく。また今後は、デマンド値を決定する30分ごとの使用電力量に着目した取り組みや、機器に定格電力などを記した現場取り回し図の作成による効率的な省エネ活動も模索していく。



代表取締役の山川明さん。

ピーク時に使用する機器を整理し、稼働を分散

有限会社 山川牧場自然牛乳 <http://yamakawabokujyo.com/>

日決まて7時と8時。朝は乳牛の搾乳機器と工場の稼働。夜は再び搾乳と閉店に伴う洗浄作業が、それぞれ同時になるのが原因だった。だが搾乳から牛乳の冷蔵、瓶の洗浄といった作業は出荷に影響を及ぼすため電気使用は抑えられない。そのためピーク時の使用機器を整理し、検討を進めていく。クーラーを入れるクーラーの洗浄は、その時間帯に合わせる必要はないと思に至りました。クーラー洗浄の作業はピーク時から避け、それでもピーク時が下がらなければ、品質に影響が出ない範囲で、一時的に冷蔵庫を停止したり、事務所などの空調を調整するなどで対処した。

SMART CLOCKは店舗側裏、ERIAは事務所に設置した。牛舎の作業が多い山川さんは、デマンドピークの警報を携帯電話で受けられるように設定し、電話が鳴ると慌た慌と動き回っていました。でもここでは

必要な作業の見極め



「生産性を低下させてまで省エネする意味はない」

株式会社 検査技術研究所 <http://www.probe-kgk.com/>

神奈川川崎市にある株式会社 検査技術研究所は、超音波を用いた金属内の損傷を非破壊検査するセンサーを製造している。検査の対象となる金属は、橋梁に使われるものからターボシャフトといった細かな部品まで多岐にわたる。その検査対象によって提供するセンサーの形状や性能は異なる必要がある。よってほとんどが基本製品をベースにしたセミオーダーメイドである。

日本テクノの電気の「見える化」を導入した当初は、廊下や使っていないトイレの照明を小まめに切ったり、LED

賢く使う意識の定着



Dの照明に入れ替えたりといった取り組みを行っていた。それでも本格的に省エネを意識したのは東日本大震災後だった。計画停電などを体験することで、もっと電気の使い方を工夫しようという社員の声が上がり、社長も「この頃から声が上がったんです」と代表取締役社長の岡野浩志は話す。取り組みの中心になったのは、デマンドピークの抑制だった。

セミオーダーメイドの特徴を生かし、社員は互いにコミュニケーションをとりながらピーク抑制に努めた。電気料や掘削ドリルなど比較的使用電力量の多い機器について、稼働が重ならないよう作業工程を調整する。それが難しいときに空調の設定温度などを対処する。ちなみに自社ビルに設置したスマートメーターの壁面とガラスには遮熱塗料を塗布しており、建物内の温度変化を抑えている。

「これはいままに無理な省エネは強いません。例えば夏に暑いと意見があった作業場では空調を2台から3台に増やしました。新型の加工機器はたとえ使用電力量が増えても

SMART CLOCK

省エネ時計が誕生日を祝福



ぼくが誕生日をお祝いします

Happy Birthday to you~ Happy Birthday to you~



有機ELに表示
「〇〇さん お誕生日おめでとうございます」

経営者から従業員へ、福祉施設スタッフから入居者さんへ、誕生日のお祝いをする事業所は多くあります。そうしたコミュニケーションは風通しをよくし、業務改善をはじめ、さまざまな波及効果が見込めます。日本テクノは、単なる省エネのお手伝いにとどまらず、より新しい価値を生む職場環境の創造に寄与したいと考え、この機能を追加しました。

設定方法

- SMARTMETER ERIAのカレンダーを呼び出す。
- 誕生日ボタンを押し、名前と日付を設定する。
- 設定した誕生日に河村隆一さんが歌う「Happy Birthday to You」が流れ、有機ELに「〇〇さん お誕生日おめでとうございます」の文字表示が流れる。

※個人情報のため、お客様自身でご入力ください。



